山村塾は都市と農山村の住民が一緒になり、環境にやさしい米づくりや
豊かな生態系の森づくりを通じて山村の環境を守るグループです

2024年7月号

こめづくり もりづくり ひとづくり

山村塾通信

シンポジウム『いろいろな生き物と共存する森づくり』

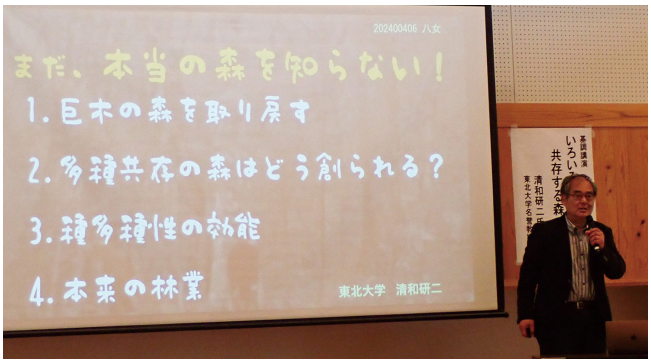
2024 年 4 月 6 日､黒木町にてシンポジウム｢いろいろな生き物と共存する森づくり｣を開催しました。

シンポジウムの基調講演では東北大学名誉教授の清和研二先生が、「まだ、本当の森を知らない！」と語り始めました。本来、原生の森はどういったふうに出来上がってきたか？どんなサイズなのか？私達はあまり知らない。そういった森のメカニズムを知ることがまずは大切だと。そして「巨木の森を取り戻す」ことの意義をお話しされました。炭素貯蔵量が多い巨木があることが温暖化抑制に貢献すること、樹木の根とそこに住む微生物（菌根菌）の働きによって、多様な樹種が育ち、種の多様性が高まるとともに、地下水に窒素が流出する地下水汚染を減らす効果も期待できること（地面の下の多様性も大事！）など…。

たしかに緑豊かな奥八女の山々を見渡しても、九州の山々を尋ねても、なかなか巨木の森は見当たりません。戦時中には薪炭や造船・建築の用材で日本全国の森が伐採され、戦後の拡大造林計画でスギやヒノキの森に置き換わってきました。神社仏閣には巨木が残っていることはありますが、ごく狭い範囲ですので本来の森ではありません。私達はこの 100 年ほどの間で巨木の森、本来の自然を利用しつくしてきました。これから私達がいろいろな生き物と共存してゆくには、まず多くの種類の植物が必要です。そしてその数を増やすには、種数にだけ目をやるのではなく、古い巨木もあって若い木々もある年代的にも多様な環境が大切だと感じました。

シンポジウム後半では事例発表「市民参加による広葉樹林育成の取組み ～ケヤキ林を事例に」朝廣和夫氏（九州大学大学院芸術工学研究院教授)、「楽勝の照葉樹林造林 21ha」沢畑亨氏（愛林館館長、自由飲酒党総裁）をお二方にお話し頂きました。朝廣先生は山村塾のケヤキ林について、その歴史をレビューいただくとともに、ドローン調査によって作成した相観植生図から見えてくる情報を紹介いただきました。ケヤキ林にどんな種類の樹木がどのくらいの密度でどのくらい生育しているのか、視覚的に理解することができるようになりました。それにより専門知識がない方とも森の様子を共有することができ、森林ボランティア活動の大きな応援になることが期待できそうでした。沢畑さんは山村塾の活動開始と同時期から熊本県水俣市の山間部で棚田保全や広葉樹の森づくりをされてきました。山で暮らす社会（上流社会）だけでなく、都市で暮らす人も含めたみんなで、森や棚田のめぐみを大切にしていくべきだというメッセージをいただきました。

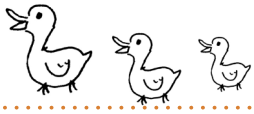
山村塾は、ケヤキ林での森づくり、パッチワークの森づくり等を通じて、いろいろな生き物が住む森づくりを目指して来ました。これらの森づくりをベースにしつつ、「本来の森」を学びながら、多くの方々と一緒に「巨木の森」､「多種共存の森」を考えていきたいと思います。ケヤキ林の今後に向けて、第 2 第 3 の企画を予定しています。皆さんのご参加をお待ちしております！（小森耕太）



清和研二先生の基調講演

参考）清和研二先生の主な著書 「多種共存の森―１０００年続く森と林業の恵み」（築地書館、2013 年）
「スギと広葉樹の混交林 蘇る生態系サービス」（農山漁村文化協会、2022 年）

稲作コースより



今年も米づくりが始まりました！まずは５月の「稲の種まき」。四季菜館の田植えは１か月間に及ぶので、稲の苗箱づくりも時期をずらして２回行います。そこて今年度から２回目の種まきも行事に加わりました。細かい作業から力仕事まで、皆さんおつかれさまでした。四季菜館では、今年は酒米や米粉向けの品種も育てるそうで楽しみです！

６月の田植えも２日間に分けて行い、両日お手植え田植えとそのあとの泥合戦も大いに盛り上がりました。賑やかな声が棚田に響き、田んぼの神様も大笑いしていたことでしょう。6/8 は台湾から視察に来られた和禾聚落（ホーホーしゅうらく）の皆さんとも一緒に田植えをしました。お互いの米づくりについて情報交換もでき、今度は台湾の棚田にも行ってみたい！と話が弾みました。

さて、10 月の稲刈りまでまだまだ手が必要です。田んぼでお待ちしております！（原 愛子）

日付	行事名	会員	一般	WC	スタッフ	計
5/5	稲の種まき①	9	2	2	8	21
5/26	稲の種まき②	24	0	2	7	33
6/8	田植え①	25	27	2	8	62
6/9	田植え②	35	5	2	7	49
6/16	鴨進水式	48	3	1	9	61
7/14	田の草取り①	13	0	1	6	20

思いっきり泥合戦！（6/8）

農家の声

みなさんこんにちは、誠です。

今日は 7/17。この原稿の締切は 15 日。すでに２日過ぎていて、原さんに申し訳なく思いながら慌てて書いています。うちの田植えは 7/13 に終わり、鴨をとりあえず田んぼに放し終わりました。例年とさほど変わらず遅くなりました。やはり田植えまで終わるとホッとします。育雛ハウスにはまだ鴨が残っているのであちこちに追加していきます。早くしないとそろそろブロッコリーの種まき、苗作りが始まります。種を蒔いた苗は鴨がいたハウスで育てるので、兄は土入れのみして待機中です。今年は６月に入ってから梅雨入りし、７月に雨マークが晴れマークに変わり始めました。こんなセオリー通りの年も珍しい気がします。やはり６月にきちんと降ってくれると田んぼは助かります。６月に水を溜める準備をしますが、なかなか水が足りない所もあちこちあるので、恵みの雨という気がします。

田んぼは、これから周りの畦を草刈りしたり、田まわり、鴨の餌やりと頑張っていきます。畑のほうはキュウリや夏野菜の収穫が始まり、朝に四季菜館に着くと父や兄達が袋詰め作業、出荷の準備を行っています。

晴れが数日続けば、小豆の準備をします。昨年は多少（3kg くらい）収穫できたので、これを種として苗を作り畑に定植します。前回は直播したので、草取りがとても大変でした。小豆が草に隠れてとても神経を使いました…。母と森田さん（近所のおばちゃん）に手伝ってもらい、非常に助かりました。今年は 100kg くらい収穫したいですね。

これから夏本番、暑さも厳しくなります。米の苗も鴨もどんどん大きくなっていきます。鴨に負けんように、バリバリ頑張っていきます！

しばらく休みを取ってないので、そろそろ家族サービスもします。では！

稲作コース
椿原 誠

山林コースより

里山ミニワーク「お茶つみ」では、今年も昔ながらのお茶づくりに挑戦しました。お茶の葉を12kg 手摘みし、釜で炒って、ムシロの上で根気よく手もみします。どの工程も手間と時間がかかり、お茶づくりの大変さを実感しました。翌日、乾燥・火入れをして完成です。今回も風味豊かでおいしいお茶ができました。

6/1 ～ 2 は「森林と市民を結ぶ全国の集い」のフィールドセッション（現地視察会）が笠原で開催されました。山村塾がホストを勤め、山村塾の森づくりフィールド（ケヤキ林とパッチワークの森）をご案内しました。全国から集まった森づくりに関わる皆さんとの交流、意見交換など充実した 2 日間となりました。ありがとうございました！（原 愛子）

日付	行事名	会員	一般	WC	スタッフ	計
4/6	森づくりシンポジウム	6	62	0	19	87
5/3 ～ 4	里山ミニワーク お茶つみ	11	11	2	7	31
6/2	下草刈り①	休止				

おいしくな～れ！の掛け声で手もみしました（5/3）

今期のお茶摘みは、一番茶が 4/26 に始まり 5/15 に終了しました。晩霜の被害もなく、例年より 3 日ほど早く始まり、雨も少なく順調に進んだと思います。5/3 ～ 4 のお茶摘みミニワークにも、沢山参加いただきありがとうございました。釜炒り茶は、いかがでしたか？私にとっては、子供たちが走り回っている様子を見て癒される時間でもあります。

お茶の現状としては、ペットボトルの普及でリーフティーの伸び悩みは依然変わらないと思います。今年に関しては、肥料散布後の雨が少なく十分な栄養と水分をお茶の木が蓄えられていないまま収穫を迎えているのでは？という話もありました。また、かぶせ茶用の被覆をしてから曇りの日が多く、被覆日数のわりに色が出ないなど色々問題も山積みでした。しかし、今年は 5/1 に八十八夜のお茶摘みが出来ました。我が家のお茶に関して言えば、昨年思うような手入れができなかったという大きな反省点はあるものの、一部の茶園整理をした事もあり、お茶摘みを無事に終えることが出来良かったと思います。一番茶収穫後は、早速来年に向けてのお茶の木づくりと、二番茶に向けての剪定作業、田植えの準備をして、6/11 ～ 13 で田植えを終えました。6/14 ～ 25 で二番茶の収穫でしたが、いつもながら梅雨入り後のお茶摘みは天気予報のこまめなチェックが必須です。また、収穫も思うようにはいきません。自然が相手ですから…。成るようになる、成るようにしかならない、と思いながらの日々です。

田んぼに関しては、いつも水問題に頭を痛めていますが、田植え後は雨が続いているので今の所は足りています。しかし、それに伴ってジャンボタニシ問題が出始めました。稲が食べられ欠株が目立ち始めました。一難去ってまた一難という感じです。

年々、気候変動により温暖化が進み生態系や農作物にも影響が出てきているようです。そればかりか、私達の生活もいろいろな制度や仕組みが変わり、聞きなれない言葉についていけてない現状です。

7/28 は山林コースの下草刈りです。食事作り頑張ります。梅雨明けで暑くなると思いますが参加お待ちしております。それから、山林コースの方には準備できしだい、１回目の農産物を発送します。

山林コース
宮園 佐津美

山村塾＊活動レポート

中長期個人型ボランティア

…1 か月以上の期間、笠原に滞在しながら活動するボランティアです。

シャネルさん
from ベルギー
4/19 ～ 5/28

私は、えがおの森での活動に 1 か月あまり参加しました。滞在中、農業はもちろん、日本の生活習慣、私たちとは全く異なるものの見方、伝統など、多くのことを学び、発見しました。

この期間、多くのイベントがありました。「お茶つみミニワーク」では、緑茶がどのように作られるのかを丁寧に教えてもらい、地元の伝統的な茶摘みの技術を知ることができました。一緒に参加した子どもたちはとてもかわいくて、一緒に踊り、遊び、大笑いしました。稲作コースの「稲の種まき」では、一粒一粒の種を苗箱に植えるのがとても面白かった！ 700 もの苗箱を苗代に運ぶ作業は本当に疲れましたが､達成感がありました。「たからばこ」の、障がいを持った皆さんとの森での活動は、彼らの笑顔とユーモアのおかげで、たくさん笑い、楽しい時間をすごしました。

生活面では、えがおの森での共同生活を通じて、普段なかなかできない日本料理を作ることができました。私は料理が大好きで、この時間が特に気に入っていました｡おしゃべりを楽しんだり、基本的な食材やレシピについて学んだりすることができて、感謝しています。

ここでの経験は本当に素晴らしいものでした。疲れたこともありましたが、多くのことを学べ、ここで約 1 カ月半活動できたことに感謝しています。忘れられない経験になりました。また機会があればぜひ参加したいと思います。本当にいろいろとありがとうございました。（シャネル）

ボランティアの活動レポートは、
ブログで発信中です！
https://egaonomori.exblog.jp

＼活動中！／

マリーンさん
from フランス
4/25 ～

フランスから参加のマリーンさんは、4 月から 10 月までの半年間活動予定です。イベントでご一緒する機会もたくさんありますので、よろしくお願いします！ブログも更新中なので、ぜひのぞいてみてください。

CSO ラーニング制度 インターン生 活動中です

「CSO ラーニング制度」は、SOMPO 環境財団が主催する、大学生・大学院生が全国各地の環境 NPO・NGO にインターンシップする制度です。

今年度は、大学院生の李（リ）俊逸（シュンイツ）さんと叶（イェ）沛芸（ペイユン）さんの 2 名がインターン生として、6 月から来年 1 月まで活動します。どうぞよろしくお願いします。

日帰りボランティア

4 月～ 7 月の期間に計 10 回開催し、延べ 39 名の方々に参加いただきました｡薪づくりや､らっきょう･梅の収穫、田んぼの管理（補植や草取り）などを行いました。おかげさまでラッキョウ漬けの仕込みや田んぼ仕事が順調に進みました！

◆ 8 月以降も、月に 2 回ほど（主に第 2・4 水曜日）活動を予定しています。詳細はホームページをご確認ください。

ラッキョウ収穫

台湾・和禾聚落（ホーホーしゅうらく）より
～山村塾視察レポート～

6/6～9の4日間、台湾・和禾聚落の皆さんが山村塾へ視察に訪れました。今回の視察をコーディネートした、ファンさんからのレポートです。

わたしたち「和禾聚落（ホーホーしゅうらく）」は、台湾・新北（シンペイ）市の貢寮（コンリャウ）区に位置し、棚田の風景と地域の営みを守る活動を行っています。今回、日本の里山保全活動の取り組みを学ぶため、山村塾にやってきました。

笠原の山村と同じく、貢寮も豊かな自然に恵まれ、おいしいお米や清らかな水があります。しかし、自然災害や人手不足が原因で、棚田の草が生い茂り、植林地も荒れがちです。解決策を探るため、私たちは四季菜館、えがおの森、椿原・屋敷地区の棚田、梅林、ヤギ牧場、グリーンピア八女など山村塾の活動フィールドを回り、元気な山村の風景を見学しました。その中で、平成24年九州北部豪雨の災害復旧に関連するプログラム、笠原棚田米プロジェクトや、災害ボランティアの活動、ヤギ牧場の設立に深い感動を受けました。

山村塾の活動にとって、フィールド作業を通じて農家と参加者たちが交流するのは、重要なコンセプトだと思っています。1994年から都市や外国の人と共に作業を行っていくなかで、参加者が笠原の風景を大切にし、地域の人々が自らの営みに誇りを持っています。今回、稲作コースの田植えに参加し、言葉が通じなくても、台湾チームと日本チームと腕を組んで、田植えができました。泥合戦も楽しんで遊びました。

今回の視察では、里山保全をテーマとして、田植えの時期の笠原の風景を見ることができました。人との交流、環境にやさしい農業の実践、空き地や廃校の活用など、山村塾の取り組みを深く理解しました。貢寮の棚田再生プロジェクトの活動歴は13年とまだ浅いですが、美しい山村風景をこれからも守っていきます。またいつか山村塾と再び交流できる日を楽しみにしています。

ファン・ポウェイ
（元 山村塾スタッフ、台湾在住）

和禾聚落の棚田では、機械が入らないため、水牛の力を借りながら耕うんし、手作業で米づくりをしています。湿田なので、稲刈りはヒザまで水に浸りながらの作業だそうです。

和禾聚落の facebook ページ
@ hohovillage

その他の活動報告

日付	活動内容	会員	一般	WC	スタッフ	計
4/14	全体行事「顔見せ会」	48	0	0	9	57
5/18・19	里山ミニワーク「棚田の草刈り」	8	0	2	3	13
5/25	通常総会	4	0	0	7	11
6/15	棚田米プロジェクト田植え	3	4	1	7	15
6/30	チェーンソー基礎講座基礎編	0	6	0	5	11
7/14	チェーンソー基礎講座レベルアップ編	2	7	0	4	13
7/17	ボランティア向け草刈機講習会①	1	0	0	1	2

編集後記

この春は国内外から様々な方々が笠原・えがおの森に来られて賑やかだったなあと思い返しながら通信を作っています。完成した本日、梅雨明けの発表がありました。いよいよ夏本番。暑さに気を付けて楽しい夏を～！（原 愛子）

山村塾の年間予定　Facebook　Instagram

山村塾の SNS 発信中！

事務局より

会員募集中！

■ NPO 会員：山村塾の趣旨に賛同し、会員として私たちの活動を継続的に応援してくださる NPO 会員を募集しています。総会での議決権を持つ「正会員」と、議決権を持たない「賛助会員」があります。

■活動コース会員：いっしょに田んぼや山で働く活動コース会員（稲作・山林、稲作 30kg・山林、稲作、稲作 30kg、山林、古里）をいつでも募集しています。

ご寄附のお願い

山村塾の活動は、皆様からのご寄附で支えられています。山村の暮らしに学び、山村の環境を守る取り組みに、ぜひご協力をお願いいたします。

【山村塾は「認定 NPO 法人」です】

山村塾へのご寄附は、確定申告をすることで寄付金控除の対象となります。

▶ご寄附の方法

■郵便振込口座から

加入者名：特定非営利活動法人山村塾
口座番号：０１７９０－３－１６９３９８

■銀行から

・銀行名：ゆうちょ銀行　店名：一七九（店番：１７９）
　口座：当座　０１６９３９８
・銀行名：福岡銀行　黒木支店
　口座：普通　１０８５３９８
　　特定非営利活動法人山村塾 理事長 小森耕太

※銀行からお振込みされた方は、お名前とご住所またはメールアドレスをお知らせ下さい。

■農産物を買う

会員の方が、椿原家と宮園家の農産物・林産物を購入されると、その一割がヤマヤマ基金へ入ります。

■古本で寄付ができます！

古本や DVD を「きしゃぽん」にお送りいただくと、買取金額が山村塾への寄付となります。ぜひご協力をお願いします。（古本集荷依頼 TEL：0120-29-7000、山村塾に寄附したい旨をお伝えください。）

会員状況（2024 年 6 月末時点）

▶ NPO 会員

【正会員】　個人：32 名、団体：4 団体
【賛助会員】　個人：91 名、団体：2 団体

▶ 2024 年度活動コース会員

稲作・山林：4 名、稲作 30kg・山林：5 名、稲作 21 名、稲作 30kg：12 名、山林：11 名、古里：10 名

▶笠原棚田米サポーター

81 名（個人 77 名、企業・団体 4 名）

寄附者（2024 年 2 月～ 6 月）

▶個人からのご寄附

2024 年 2 月 1 日から 6 月 30 日までに、29 件 466,332 円のご寄付を頂きました。

▶企業・団体からのご寄附

・古本募金きしゃぽん様を通じてご寄附をいただきました。（3/19：1,148 円）
・KDDI 株式会社九州総支社様から社員参加型の社会貢献活動「＋αプロジェクト」を通じて、342,790 円のご寄附を頂きました（6/28）。棚田や森林の保全に役立たせていただきます。

山村塾 今後の予定

日程	行事名
8/18（日）	ボランティア向け 草刈機講習会②
8/25（日）	稲作コース「鴨の引き上げ」
8/31（土）～ 9/1（日）	里山ミニワーク「棚田の草刈り」
9/16（月・祝）	唄って踊って味わう八女茶山
10/5（土）・6（日）	稲作コース「稲刈り①・②」
10/20（日）	山林コース「枝打ち」
10/26（土）・27（日）	全体行事「鴨さばき①・②」
11/9（土）	収穫祭準備
11/10（日）	全体行事「収穫祭」
11/24（日）	山林コース「森の手入れ（除伐）」

▶行事・里山ミニワーク等の開催について、最新情報はホームページ、メールニュースにてご案内します。

※イベント情報のご案内を、FAX や郵送で希望される方は、事務局までお知らせください。

＼お問い合わせ大歓迎！／

こめづくり もりづくり ひとづくり 山村塾　**認定 NPO 法人 山村塾**
〒 834-1222　福岡県八女市黒木町笠原 9836-1
TEL・FAX 0943-42-4300
Email：info@sansonjuku.com　**HP** https://sansonjuku.com
FB　@ sansonjuku　**Instagram**　@sansonjuku_official
発行者：小森 耕太
編集者：原 愛子

※山村塾は認定 NPO 法人です。山村塾へのご寄付は寄付金控除の対象となります。

最新情報はホームページより

山村塾　検索